

## 【高浜町】 校務DX計画

1人1台端末導入後、授業支援アプリやデジタル学習ドリル、学習eポータル等を活用し、学習におけるデジタル化を進めてきた。

教員間においては、校務支援システムのグループウェアやクラウドサービスを利用し、伝達事項や各種資料及び教材をデジタル化して共有している。今後、校務DXを推進するために「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、具体的な取組みを次のとおり設定する。

### 1. FAX・押印の廃止

令和6年12月に文部科学省より発出された「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、保護者・外部とのやりとりで、押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務DXを阻害している。

本町においても、紙ベースでの資料配布や押印の見直しを進めているところだが、各種行政機関及び学校とのやりとりのある事業者においては、紙ベースやFAXでの資料配布・提出を求めるケースも見受けられる。FAX及び押印の原則廃止に向けて、学校への意識改革や各種行政機関及び学校とやりとりのある事業者に対して、町教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的にはたらきかけを行う。

### 2. ペーパーレス化の推進

本町では、各学校の職員会議等では校務系サーバのクラウド上にデータを保存し共有することで完全なペーパーレス化を達成している。しかしながら、保護者への配布文書については完全にペーパーレス化を達成できていないのが現状である。資源の節約や印刷コストの削減、時間の削減などペーパーレス化を進めることで得られるメリットはたくさんある。各学校と連携しながら、ペーパーレス化を推進していけるよう課題を研究し解決していきたい。

### 3. 汎用クラウドツールの活用

本町で活用しているコミュニケーションツールをより一層活用し、教員間での連絡を円滑に行う。また職員会議のオンライン化や研修のオンデマンド視聴を実施することで、教職員が自分の実情に合わせた環境で校務に取り組むことができる。また、汎用クラウドツールを活用し、これまで多くの時間と労力を要していた手作業を一掃し、精度とスピードを向上させる。学習環境の向上ができるようなクラウドツールは積極的に活用していただくように励行するとともに、教育委員会としても支援できるように検討していきたい。

#### 4. 次世代校務DX環境の構築

現在、職員室でのみ校務を処理しているため、管理職が不在の場合は校務が滞る状況である。また校務系と学習系のネットワークが分離しており、データの円滑なやり取りが困難な状況である。今後、1台の端末で校務系と学習系ネットワークを切り替えて利用できるようゼロトラストの考え方にに基づき適切にセキュリティを確保した環境の整備を検討したい。さらに現在利用しているクラウド利用型の校務支援システムと教職員用の端末の一台化を組み合わせることで、ロケーションフリー校務系学習系システムへ持続可能な環境を整備し、教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方の実現を検討したい。